

「テニスの日」2021年度 個別イベント 各賞表彰

★個別イベント大賞 (チャーム 100 個 贈呈)

シンポウテニスリゾート「シンポウテニスイベント」

告知については、コロナ渦で集客がしづらい状況ではありましたが、感染対策徹底の声かけもしながら、HP・Facebook・Instagram・屋外看板で内容を公開し、近隣住民や近隣幼稚園・保育園にチラシを配布しました。

当日の内容としては、大人の中級レベル以上の方はアウトコートへご案内し、コーチやクラブ会員の方との交流で楽しんでいただき、インドアコートでは親子や家族、初心者の方が安心してゆったり遊べる内容・コート配置にしました。人気の親子レッスンは時間をずらして2コマ行い、レッスン前後はそのまま遊べるように隣のコートにミニコートを設置し、遊びやすくしました。ミニコートでは1人で来たお子様や初心者の方は、コーチが相手をして楽しんでもらいました。フロアではガットで作るミニラケット作りや、お家で遊べるテニピン作りを行い、小さいお子様も遊べるスペースを作りました。

アウトコートでは、大人の経験者の方とメンバー会員向けにコーチ総出でラリーのお相手をした後、スクール生とメンバー会員で親睦テニスと称しペアを組み替えながらゲームを行いました。色々なコーチを打ち合えるとあって参加者の方には特別な時間として満足していただきました。他にも、的当てテニスで当たったらアメのプレゼントがあったり、アンケートを帰りに提出していただくと全員にお菓子などのプレゼント、後日の抽選で豪華賞品のプレゼントを用意したりと、テニス以外でも楽しめる要素を作りました。

感染対策においては、当日体調が悪い方の来場はご遠慮いただき、受付時に体調を確認・手指の消毒・検温を行いました。館内・コートは常に窓を開け換気を行いながらイベントを開催しました。館内での移動時はマスク着用の呼びかけ・POPでの注意喚起を徹底し、コート内でのイベント時なるべくマスクを着用していただきました。(コーチとのラリー時など、4メートル以上距離がとれる時の着用は自由としました)。消毒液も様々な場所に多数設置し、いつでもどこでも手指消毒が行えるようにし、試打ラケや試打シューズなどは毎回消毒を行って使用していただきました。順番待ちしている方には、間隔を空けて並んでいただくよう声かけを徹底しました。



★ボレーボレー極めたで賞 (チャーム 50 個 贈呈)

トップインドアステージ多摩「Volley Volley Challenge」

9月16日(木)~22日(水)の1週間、レッスン内でボレーボレーを行いました。VIP-TOPグループ11校でのボレー回数の合計が350,000回を達成すると参加者の中から抽選で賞品を贈呈しました。前回のボレーボレー大会から新たに札幌校、東陽町校、VIP TENNIS ACADEMY校の3校が加わり、1万5千人を超える生徒数での実施となりました。

結果、目標の35万回を大きく上回り40万1回という記録を打ち立てることができました。生徒、コーチ全員の力を結集し、大きな目標を達成できたと思います。



◆地域の夢 賞 (チャーム 50 個 贈呈)

テニススクエア石神井 「光絵本展×わくわくまつり」

コンセプト①『地域の子どもたちに夢を見せたい』

今年のテニスの日の目玉は「光る絵本展」先の見えない真っ暗な時代。子どもたちに夢を持ってもらいたい。挑戦する勇気を持ってもらいたい。「信じぬくんだたとえひとりになっても」

そんな想いを乗せて、ペルトラックを招致しました。with コロナで、一体何ができて、一体何ができないのか。できない理由を考えるのではなく、どうしたらできるかを考えました。

幸い、テニスはコロナ禍でも安全なスポーツ、テニスコートは安心できる場所ということで、その利点を最大限に生かし、推定 800 人を超える来場者の方が、笑顔で過ごす一日となりました。

コンセプト②『若い世代に夢を与える』

毎年、わくわくまつりには、多くの学生スタッフが応援にかけつけてくれます。

毎週会っているスクール生から、年に一度この日にだけ来てくれる元スクール生。

みんなが9月23日を楽しみにしてくれています。そんな若い世代に夢を与えるべく、今回の光る絵本展は、クラウドファンディングで招致しました。途方もない夢であろうと、絶対に諦めない信念を持つこと。そして、何よりも、人と人のつながりを大切にすること。そんなことを、このイベントを通して感じてもらえたらなと。結果、本当に多くの方々にご支援をいただき、夢を叶えることができました。

コンセプト③『地域のみならずコラボ』

今年のわくわくまつりは史上最大規模になるとの予想から、また SDGs の視点からも「地域を元気にできないか」と考えました。サッカースクール・ヨガ教室などの体を動かす系。

伝筆・アロマハンドマッサージ・楽器作成などのワークショップ系。マルシェ・ラーメン屋・居酒屋・焼き鳥屋などの美味しい系。

駄菓子屋・縁日などのお祭り系。これらの方々にご縁をいただき、つながりを深めることができました。



◆テニスで繋がったで賞 (チャーム 30 個 贈呈)

株式会社ツカダプランニング 「テニスで繋がろう！」

新型コロナウイルスの蔓延により制限された生活のなかで、対面の場が減り、コミュニケーションの枯渇も深刻な問題となりました。その中で私たちが再認識したこと、それは人との繋がりを生み出す場がテニスコートであり、健やかな日々をサポートするのがテニススクールの使命であるということ。こんなときだからこそ、「テニスで繋がろう」というテーマで動画を作成することにしました。

そして、ツカダプランニングが運営する埼玉県、東京都、千葉県の新 12 会場のテニススクールが連携し、一つの動画を作り上げました。

コロナ禍でも感染対策をしながら行ったイベントでは、近所に住む方も来場くださり大盛況になった様子や、世代を超えてテニスを楽しむ皆様の姿が映った写真を纏め、また、スクール生の皆様に協力いただき、「テニスの良いところ」をメッセージにしてボールに込め、12 会場リレー形式に結びました。これを機にテニスの魅力を多くの方々に届けられたらと思い、本動画を Youtube にアップいたしました。この想いが皆様にも届きますようにと、願いを込めて。



◆感謝を伝えたで賞 (チャーム 30 個 贈呈)

宝塚テニスクラブ 「第 7 回パソコンでテニス祭り」

イベントのテーマは【感謝】です。感謝ボードを作成し、スクール生や参加者に日頃関わりのある人への感謝の気持ちを文章にし、感謝ボードへ貼り付けて完成を目指しました。

また、医療従事者や本イベントへご協賛頂きました企業様を無料レッスン会にご招待し、参加頂きました。

通年、テニスの日イベントでは屋台や出店などもあり1日中参加して頂けるイベントでしたが、感染拡大防止の為、屋台や出店は出さず、特別レッスンなど少人数参加で募集し密集を避け、長時間滞在が無いようイベントを企画しました。



◆テニスを盛り上げたで賞 (チャーム 30 個 贈呈)

豊田市テニス協会
「2021 おいでんテニスデー」

例年通り市営施設 6 会場トータル 24 面を使用、昨年に引き続きコロナ感染対策を徹底し参加人数を 1 面当たり 8 名に絞って募集・開催しました。
本年は当協会設立 40 周年の節目に当たるため、日ごろの感謝を込めてテニスコートの美化活動を実施しました。内容は、砂入り人工芝コートへの砂入れ、コート周りの砂を寄せて撒き直し、草取り、落ち葉除去、苔除去、ネットの白帯交換・ほつれ補修等です。
美化活動の準備を通して、各施設の方々や維持管理にご苦労されていることがよくわかりました。施設・利用者双方で安全で快適な環境を作っていくことを改めて確認しました。
テニスの日をきっかけに、テニスを始める人や楽しむ人が増え、テニス界がますます盛り上がって欲しいです。



◆個別イベント特別賞 (チャーム 20 個 贈呈)

テニスコア春日部 「テニスの日祭りサッカー・テニスコラボ&里親会」

テニスの日祭りとして、テニスとサッカーのコラボや、社会貢献活動の一つとして保護犬や保護猫の里親会を同時開催しました。スポーツだけではなく、いろいろなことを子供達に知って欲しいと考え、企画イベントとしました。



◆個別イベント特別賞 (チャーム 20 個 贈呈)

テニススクール東京グリーンヒルズ 「ボレーボレーステップアップチャレンジ+テニスクイズ」

小さい子供から大人までスクール生全員が楽しく参加し、全員で2万回弱のボレーボレーを達成することができました。またテニスクイズは、投票までの時間があつたので本気モードで自宅にて調べてきている方もいてレッスン内で話題にもなり、レッスンも盛り上がっていました。毎日の速報の数字を見て生徒さん同士が一斉懸命集中してボレーをして一体感がありました。クラスの仲間が一喜一憂しながらボレーをしたり等、コーチと競って盛り上がっていました。



◆個別イベント特別賞 (チャーム 20 個 贈呈)

三条市テニス協会 「テニスの日『テニス祭り』」

昨年は中止としたので、2年ぶりの開催でした。
今年は、会場をクレートコートからオムニコートに変更しました。
また今年新たに、協会員が作成したストラックアウトをイベントに追加しました。
大人と子供それぞれのルールを設け、賞品に秋の果物を用意し、皆さんに楽しんでもらえたと思います。
参加者からも
・親子で楽しめて良かったです。
・いつもとは違うメンバーで違う内容のレッスンで良い経験になりました。
・イベントが盛り沢山で楽しかったです。
といった感想が寄せられました。



◆個別イベント特別賞 (チャーム 20 個 贈呈)

千歳テニス協会 「2021With コロナ テニスの日」

コンセプトは、「コロナに負けないで、元気に、笑顔で、テニスを楽しもう!」です。緊急事態宣言によりテニスが出来ない状況が続いていましたが、今年、計画した大会等は開催が可能となり、天候にも恵まれた中、しっかり感染対策を行いながら、参加者全員が、笑顔で一日テニスを楽しむことができました。



◆個別イベント特別賞 (チャーム 20 個 贈呈)

安来テニス協会 「第 22 回チャオテニス」

当初は例年通りテニスの日 9 月 23 日に開催する予定でしたが、自治体からストップがかかってしまい、昨年に続いて開催を断念せざるを得ない状況でしたが、その後、9 月末頃からコロナ感染状況が改善し、自治体からも OK をいただいたので、感染対策を徹底した上で、何とか 10 月 10 日に開催することが出来ました。地元出身の細木咲良プロにも急遽参加していただき、特に細木咲良プロとのじゃんけん大会は大変盛り上がり、賞品をゲットした子ども達の笑顔が最高でした。安来テニス協会としては近隣ジュニアの育成のため、今後も「テニスの日」イベントを継続して開催したいと思っています



◆個別イベント特別賞 (チャーム 10 個 贈呈)

アルドールテニスステージおゆみ野校 「テニスの日イベントみんなでチャレンジ」

今年はコロナの影響もあり、不特定多数の方がイベントに参加されることを避け、人数を制限し、テニスの日を楽しんでもらうイベントを開催しました。また、スクール生ではない近隣の方にテニスを楽しんでもらいたく、「体験会」を実施したところ、小学生から 60 代の方まで 14 名の方が体験会に参加してくれました。募集は、スクール生の紹介と弊社 HP のみとして、あまり大体的な宣伝は控えました。小学生クラスの体験者には必ず保護者の方が一緒に来られますので、見学はコート横を開け、外からの見学をお願いし、密を避けるようにしました。体験者の多くがスクールに入会してくださり、テニスの楽しさを知っていただけたようです。スクール生向けのイベントは「ボレーボレー大会」を中心に考え、「テニスの日を楽しみながらチャレンジする」ことをメインに一般クラス 24 名、ジュニアクラス(小学生)18 名の募集とし、少人数で実施しました。参加者を 3 グループに分けて、それぞれ「的あてゲーム」「ボレーボレー大会」「ラリー練習」を行いました。「的あて」「ボレーボレー大会」は出来るか不安になりながら挑戦してもらうこと、「ラリー練習」はコーチといかに打ち合うかに挑戦することを目標に行いました。来年はもっと多くの方にテニスの日を楽しんでいただきたいと思います。



◆個別イベント特別賞 (チャーム 10 個 贈呈)

テニスラウンジ東郷 「親子わいわいダブルス」

テニスソーシャルディスタンスを保てるスポーツであり、親子に限定することで感染対策としました。お休みの日に外出が制限されている中で、お子様と一緒に楽しく過ごせるように、今回の企画を考えました。参加された小学生は 1 年生も多く、試合に出場するのは躊躇するような年齢の子たちが、お父さんと一緒に参加することでテニスの楽しさを味わってもらえたと感じています。お祭りのような感じでイベント参加に対するハードルが下がり多くの方に参加いただけたことがよかったです。小学生の女の子から「テニスは楽しい!」と声をかけていただきました。親子で一緒にプレーでき、またレベルを問わず楽しく満足のできるスポーツであることがお伝えできたと思っています。



◆個別イベント特別賞 (チャーム 10 個 贈呈)

テニスゼロ和光 「テニスを通じてみんな元気になろう！」

今回は、WITH コロナの中でのイベント開催のため、全てにおいて体温計測、手指消毒徹底、3密対策の徹底など、感染対策に気を使いながら実施しました。『ゆめチャレカップ〜くりひろいの章〜』では、日ごろ各会場で練習している子供たちが、夢を叶えるべく試合に挑戦しましたが、それぞれの試合では色々なドラマがありました。

優勝者によるウィニングスピーチでは、試合を開催してくれた事への感謝、日ごろからテニスをさせていただいている保護者の方への感謝、一緒に戦ってくれた選手への感謝が述べられ、見ている方々から涙を誘うシーンもありました。

また、まさにテニスの日に開催した『STK ミックスダブルス団体戦』では、コロナ禍にあり仲間たちとの時間を共有できない中で、テニスを通して仲間たちの応援含めて、コミュニケーションをとることができ、とても有意義な大会となりました。

今後も、コロナ禍であっても、テニスが皆様の活力源になるように、テニスの普及に努めていきたいと思えます。



◆個別イベント特別賞 (チャーム 10 個 贈呈)

柏の葉インドアテニススクール 「KIT テニスの日祭り ~縁日スタイル~」

ここ2年コロナウイルスの影響により、お祭りの開催も減ってきていたので、スクールとしては初の縁日スタイルで、誰でも参加できるイベントにしました。

①縁日スタイルといってもテニススクールなので、ほとんどのブースをテニス関係にしました。1面しかない関係上、やれるブースが限られてしまいましたが、危険なシーンは全くありませんでした。

②SDGsの一環と呼べるかわかりませんがガットの切れ端を利用して、ガット製ミニラケットを先着100名様に配りました。

100個作っておくことで、100人以下なら来場数も把握できるため、来場カウントとしても活用しました。100人以上来たら、番号札をお渡しして正確な来場数を把握しようとしていました。(残念ながら100人いかなかったの、来年に回します！)

③ブースで条件をクリアすると、ガラポンが1回出来てその中の目玉商品でもある「特大うまい棒」を用意したことで、子供たちのテンションはかなり上がっていました！ 大人が当たった場合でも喜んでもらえるように YONEX の今治製タオルを出しました。

POPを通して何をやるかは文字で告知はしていましたが、実際どんな感じなのかをお伝えするために、コーチ同士で事前に動画を撮り、Facebook でアップしました。



◆個別イベント特別賞 (チャーム 10 個 贈呈)

オレンジフィールドインドアテニス 「テニスの日イベント」

多くの人に9月23日がテニスの日だと認識してもらいたい！いつも以上にテニスに触れてもらえるようにイベントを考えました。

ミニプレゼントでもみんなスタンプがあることによって熱心にスタンプ集めをしながらテニスを楽しみました。



●個別イベント新人賞 (チャーム10個 贈呈)

野村不動産ライフ&スポーツ株式会社 メガロス千種 「テニスでボール運動を楽しもう」

【コンセプト】 コロナ禍で減少した運動機会の創出のため、テニスを通してボール運動の機会を提供しました。テニス普及の為、地域小学校でテニスが初めての子供たちを対象とする。

学校への告知の為、教育委員会に後援をいただくなど行政との連携も意識し

地域に根付いたイベントを目指しました。

感染対策として消毒・換気などの基本を徹底し、5クラス開催で各クラス定員 30 名とし混雑をさけた運営を徹底しました。

参加者 137 名のアンケートでは 125 名の体験者に「とてもたのしかった」という回答をもらいました。91%から高評価をいただき非常に好評でした。

「学校からのチラシをみて参加した。テニス初めての子供がこんなに楽しんでくれるとは思わなかった」というような意見もたくさんいただきました。



●個別イベント新人賞 (チャーム10個 贈呈)

コスモテニスカレッジ ペアーズテニスクラブ 「少人数特別レッスン+親睦テニス」

緊急事態宣言に伴い当スクールの生徒さんに中身が密なレッスンをご提供！

2 時間レッスンを定員各 6 名/面、2 クラスで実施致しました。

午後には親睦テニス、こちらも少人数 16 名が 2 面で試合を 2 時間みっちりしていただく企画でした。参加商品として全員にチャームをプレゼント。

今年は緊急事態宣言もあり、テニスでストレス発散していらっしゃる方たちが多かったので、参加賞をもらえたことにも大変喜んでいただけました。



●個別イベント新人賞 (チャーム10個 贈呈)

神足テニスクラブ 「テニス無料体験&ふれあい親子テニス」

テニスの普及と家族のふれあいのきっかけ作りの為、3 面をイベントコートとして使用。全て無料でおこないました。通常レッスンは 2 面でおこない、レッスン終了後に、参加者全員でボレーボレー大会をレッスン毎に開催。

親子テニスが当初の 3 枠 12 ペアすぐに定員一杯になってしまったので、申し込みの無かったクラスを閉講して、親子テニスを増枠。最終 24 ペアでおこないました。

たくさんの笑顔をいただけたので、皆さん、コートの上で楽しんでいただけたと思います。

親子テニスでは当日 1 名のご入会がありました。無料体験レッスンには 13 名の方にご参加いただき、レッスン後、楽しかったので続けてみたいとのことで 3 名の方に即日入会いただきました。とにかくコートに来てもらうこと、そして楽しかったと思ってもらえることを最優先にレッスンを実施しました。



●個別イベント新人賞 (チャーム10個 贈呈)

NPO 法人デフテニスジャパン 「デフ Jr テニス教室」

デフジュニアテニス教室は聴覚障がいを持つ子どもたちを対象した教室であり、スクールでは聴こえないというコミュニケーション問題があり、それを解決する為にテニス教室では、手話や口話で指導しテニスの楽しさを学びます。

スタッフはテニス関係者や学校からの学生たちもおられ、聴覚障がいに理解を持ち手話を勉強されています。

子どもたちはテニスの楽しさを知り、健常者と交流など企画など立てスクールへ通いながら言葉の壁を無くしテニス友達やライバルが増える事を願っています。

コロナ感染防止の為に指導者は口話が見えるように透明マスクを着用。親御さんが座る席もフィジカルディスタンスを確保しながら位置を決めています。

こうした感染防止により、親御さんやスタッフたちが安全・安心を守りつつ活動をしています。

